

2018 年度事業報告

総務委員会

1. ホームページ委員会の運営
 - ・学会ホームページの管理、運営を行った。
2. 用語検討委員会の運営
 - ・第 2 期の 100 語を検討し、公表した。第 3 期に着手している。
3. 会員メール配信システムの構築
 - ・2018 年度に運用を開始した。クラウドサービスの利用を準備中である。
4. 理事会クラウドストレージの検討
5. 学会業務運営（理事会、総会等）
 - ・理事会開催（6 回）、社員総開催（1 回）を行った。

法務委員会

1. 定款、細則等の規則整備について
 - ・定款・細則の点検を行い、選挙に関連する細則の第 3 条、第 4 条の一部改正を行った。
 - ・会計処理細則、内規等の規則の検討を法務委員会で実施した。
2. 倫理委員会について
 - ・年次大会における倫理に関するシンポジウムについて法務委員会で検討したが、開催には至らなかった。
3. 選挙について
 - ・第 2 期における代議員選挙、及び役員選挙に向けて、選挙管理委員会を開催し、スケジュールの検討、選挙運営に関する具体的な資料づくり等を実行した（現在も進行中である）。

財務委員会

1. 学会の財務状況の点検、並びに必要な改善を検討した。
2. 「研究会開催助成事業」及び「自主公開講座助成事業」を行った。
 - ・3 件に対し計 150,000 円を助成した。他に名義後援が 1 件。

渉外委員会

1. ABAI の支部として J-ABA 事業報告／事業計画書を提出した。
2. 2018 年 5 月に開催された ABAI San Diego の ABAI 年次大会の ABAI Expo で J-ABA の活動を紹介するポスターを展示した。
3. 2018 年 5 月に開催された ABAI San Diego にて、The Chapter Leadership Training および International Reception に参加した。

4. 日本在住学生会員 ABAl/SQAB 参加助成事業の選考を行った。
5. ABAl/SQAB への派遣事業の助成金の増額について検討した。メールアンケートを実施したところ、助成金の増額以外にも、申請内容の審査をすべき、博士課程の院生は他にも研究費を獲得する機会があるので、修士課程の院生を優先すべきであるなど、選考方法や選考基準もこの機会に再検討すべきではないかという意見が得られた。今期は残り僅かであるため、本件については次期理事会への引継ぎ事項とすることになった。
6. BCBA 資格に関する情報収集窓口として情報を収集した。
7. J-ABA ニュースレターの発行（年 4 回）を行った。
8. 「日本行動分析学会若手会」の運営を援助した。

企画委員会

1. 年次大会支援事業
 - ・2018 年度年次大会における学会企画シンポジウムの実施
 - ・2019 年度年次大会における開催援助と学会企画シンポジウムの企画
 - ・2020 年度以降の年次大会開催地の調整（2020 年度は内諾済み）
2. 研究教育推進事業
 - ・春の学校の実施
 - ・学会賞（論文賞、実践賞）の受賞者による受賞講演の実施
 - ・学会賞の細則の変更

編集委員会

1. 機関誌『行動分析学研究』の発行
 - ・第 33 巻第 1 号を 2018 年 9 月 7 日付、同第 2 号を 2019 年 3 月 1 日付で発行した。
2. 出版企画
 - ・『行動分析学事典』を編集し、刊行の準備を行った。
 - ・シングルケースデザインに関する入門書の刊行に向けて準備を行った。
 - ・市場出版が困難な専門書の出版助成について検討を行った。